

数 学 談 話 会

数学談話会は、数学科教員及び大学院生が、これまでの研究内容について発表し、学生の皆さんの数学に対する見識を深めたり、共同研究の可能性を探ったりすることを目的としています。

数学に興味のある教員、大学院生、学部生の皆様のご参加をお待ちしています。

日時 2017年10月25日（水）15:00～16:00

場所 1A413教室

講師 野坂 康祐（大学院数学教育専修）

テーマ 折り紙の幾何学と平坦折り紙の代数表現

概要： 作用と半順序を用いた平坦に折り畳める折り紙の代数表現（可折平坦折り紙という）について紹介する。これを用いることで、折り鶴などの折り紙作品を代数的に表現することができる。また折り紙の幾何学については1990年ごろからその研究が報告され始め、特に、平坦に折り畳んだ折り紙の局所的な性質を述べた「前川の定理」「川崎の定理」は、現在、折り紙の工学的な応用の基礎となっている。しかしながら、これらは数学的に証明されておらず、実際には未解決な問題であった。本講演では、これら2つの定理を可折平坦折り紙という枠組みの中で証明することを目的に、折り紙の様々な性質について迫っていく。

